

中央地区広報

# 虹

4月号

第79号

担当者

小林 優太郎

暁星高校2年

## ◎学年末発表会

三月三十一日、筑波大学付属駒場高等学校にて、中央地区・山手城南地区合同の学年末発表会が行われました。

- 1、山手城南地区合同公演『Perfect Phantom』
- 2、中央地区合同公演『(たぶん)最後だけが、ウエストサイドストーリー』
- 3、山手城南地区卒業公演『わが星』
- 4、中央地区卒業公演『キレイ〜神様と待ち合わせした女〜』

出演者の皆さまお疲れさまでした、そして手伝ってくださいましたOB・OG・先生方、本当にありがとうございました。今回の公演を通して、特に、中央地区の仲の良さ、そして結束力の強さを心から実感したとともに、アピールすることができたのではないかと思います。

## ◎春フェス

四月二十四日、都立向丘高校にて春フェスが行われました。今回は暁星・駒込・戸山・城西・向丘・立教池袋・新宿・千早の八校が参加しました。詳細は五月号にてお知らせする予定です。

## ◎今後の予定

実はこの時期何かと忙しい中央地区。ゴールデンウィーク中の五月三日には、有志によって、新宿区のダイケアセンターにて恒例の時代劇が行われ、その五日後の五月八日には、ステーションことステーション26が駒込高校にて行われます。また、外部公演では、本番が六月四日、小松川区民館にて行われる梅雨のZAN・PARA2016の稽古がそろそろ始まったり・・・。

色々忙しくなりますが、いずれも楽しく、また良い経験を得られるイベントなので、二年生は、新入生である一年生も積極的に参加させ、一つ刺激を与えてみるというのはいかがでしょうか。

## ◎おすすめの劇団

自分が一番好きな劇団(?)はなんといっても「NODA・MAP」です。

かなり有名なので改めてここで詳しくは書きませんが、一九七六年、東京大学演劇研究会を母体に野田秀樹が結成した「劇団夢の遊眠社」

の一九九二年の解散の後、野田が改めて設立した演劇企画制作会社が「野田地図 (NODA・MAP)』です。

自分は二〇一五年の二月から四月にかけて上演された再演版「エッグ」のテレビ放送で野田地図の作品を初めて見たのですが、その衝撃が未だに忘れられません。それ以来、お芝居に対する見方や考え方が明らかに変化したと思います。

自分が今まで見た作品の中で一番好きなのは、NODA・MAP 第一回公演「キル」です。モンゴル帝国の建国者、テムジンこと太祖・チンギスハーンを題材にした作品なので、世界史好きな人には是非ともお勧めです。

先日、四月三日、最新作であるNODA・MAP 第二十回公演「逆鱗」が北九州にて千秋楽を迎えました。東京公演を観に行った方も多いのではないかと思います。自分も観に行ったのですが、作品の素晴らしさだけでなく、劇場の造り等にも圧巻されてしまいました。(余談ですが、東京公演が行われたこの東京芸術劇場プレイハウスは、今年度の関東大会の会場となるようです!!)

野田地図はあまりDVDの販売は行っていないようですが、戯曲集は沢山出ていますし、後日最新作のテレビ放送があったり、来年もまた本公演があると思うので、気になる人は是非チェックしてみてくださいー!!

#### 編集後記

初めまして。今年度広報委員を務めさせて頂きます、暁星高校二年の小林優太郎です。四月担当なのですが、後三日ほどで四月が終わってしまうという状況でこの記事を書いています。遅くなってしまう本当に申し訳ございません。

この時期、出会いと別れの季節と言われていますが、それを身に染みて実感する日々であります。今年度も希望溢れる新しい中一が入ってきてくれたわけですが、自分は気づけばもう高二。一方で、自分が中一だった頃、高二だったとある先輩と何年かぶりの再会を果たし、少し過去のことを思い出したりもしました。

この四年間を通して、自分も成長することができたのだろうか、いや、四月の末になって慌てて深夜に四月号の広報誌を書いている時点で、少なくとも行動が遅いという点では全く成長できていない、そんなことを考えながら書かせていただきました。今後ともよろしくお願い致します。